

ファイナル・レポート

第 36 回 IDS ケルン国際デンタルショー

会期：2015 年 3 月 10 日(火)～14 日(土) 会場：ドイツ連邦共和国 ケルンメッセ会場

過去最大規模での開催 — 来場者数、出展企業数、展示面積ともに増加

来場者の国際色が一段と豊かに、また購買決定権保有者の割合、成約件数も増加。

デンタル業界は技術革新力を披露し、IDS が今後も事業の活性化に繋がることに期待。

記録的な成果を上げた第 36 回国際デンタルショー (IDS) が、ケルンでの 5 日間の会期を終え、極めて良い雰囲気の中閉幕しました。世界最大の歯科医療・歯科技術の見本市であるこのショーには、151 カ国から、前回は 11% 近くも上回る約 13 万 8,500 人が詰めかけました。また出展企業数と総展示面積も、これまでの記録を更新しました。今年は 56 カ国から 2,201 社 (6.9% 増) が出展して、多彩なイノベーションや新規開発製品、サービスなどに 15 万 7,000m² (6.2% 増) の展示スペースが使用されました。出展企業の 70% 強 (2013 年は 68%) がドイツ国外の外国企業であり、外国からの来場者数も 17% 増え、国際色が一段と強まっています。同時に、ドイツ国内の来場者数の増加も目立ちます (2013 年比 4.3% 増)。「今年はケルン国際デンタルショーを、今まで以上に国内外にアピールする見本市へと成長させることができ、IDS 史上で最大の成功を収めることができました」と、ドイツ歯科工業会 (VDDI) の Dr. マーティン・リカルト会長は、今年の IDS をこう総括しています。「デンタル業界と歯科医や歯科技工士との間だけでなく、デンタル業界と歯科医療関連企業との間でも、極めて質の高いビジネス上の交流を図ることができました。成約件数が今年も前回は上回りましたが、見本市終了後のフォローアップも順調に進むと考えています。」ケルンメッセのカタリーナ・C・ハマ副社長はこう述べた後、さらに「ドイツ国内の来場者数が増えただけでなく、例年通り国外の反響も良く、IDS が世界を代表するデンタル業界の見本市であることが改めて鮮明となりました。なかでも、中近東や米国、カナダ、ブラジルに加え、中国、日本、韓国からの来場者の伸びが顕著です。イタリアやスペインを中心とする南東ヨーロッパ市場でも事業が著しく拡大しています」と続けました。

イノベーションに大きな関心

歯科医療関連企業とユーザの関心を取りわけ集めたのが、革新的な製品や技術です。「この点において、2 年に 1 回開催される IDS は、製品や素材、サービスやさらなる開発に関して、業界のイノベーションサイクルにぴったり合致します」と、VDDI の Dr. マルクス・ハイバッハ専務理事は強調しました。「これは、画期的なイノベーションや、既存の製品の開発のみならず、規模的にはこれより小さいけれど、品質面ではとても重要な段階での新たな進展にも当てはまります。」

IDS 2015 は、コンピュータを活用した歯科医療向けコンポーネントのインテリジェント・ネットワークに焦点を当てました。医療現場から歯科技工室に至るまで、診断と製造にかかわるワークフロー全体が今やデジタル化されています。プロセスチェーンはやがて完全にコンピュータ化され、極めて自由度の高い使用が可能になります。

見本市の大成功と良い雰囲気

各ホールが多くの人で賑わい、IDS が大盛況であったことは誰の目にも明らかでした。すべての関連分野……歯科医院から歯科技工室、歯科医療関連企業、高等教育機関まで……の代表が世界各地から IDS の展示ブースを訪れました。出展企業からは特に、来場者の国際色の豊かさに対する喜びの声が聞かれました。ビジネス面でも、ドイツ国内外の顧客から受注できた企業が多く、IDS は大きく貢献することができました。実際、受注が好調だったとの報告が企業から相次いでいます。一方、出展企業にとっては、ざっくばらんな交流やカスタマーボンディング、新規顧客の獲得、新規外国市場への進出なども、受注と同様、あるいはそれ以上に重要です。第 36 回国際デンタルショーでは、こうした目標も十分に達成することができ、出展企業は来場者の質をとて高く評価しています。これを裏付けるように、独自の来場者アンケートの速報結果から、全来場者の 83% が自社の購買の決定に携わっていることがわかりました。

「ケルンで開かれる IDS には世界から関係者が集結する。」 Hager & Meisinger 社のセバスチャン・フォス業務執行担当パートナーは IDS をこう評しています。「今年は、当社のブースを訪れるドイツ国外の来場者が前回の 2013 年より増えました。地域別では中南米がことさら目立ちましたが、アジアも際立っていました。IDS では、数え切れないほどの新しい相手と接触することができ、既存の顧客とも会うことができました。」 Dürr デンタル社のマーティン・デュアーシュタイン会長も、「今回の見本市で、私たちは大きな成果を上げることができ、喜ばしい限りです。とてもレベルの高い関連企業が数多く訪れてくれました。アジアやアラブ諸国、中南米、南アフリカの新規顧客を数多く迎えることができ、とても満足です」と話しています。Scheu-Dental 社のクリスチャン・ショイ専務取締役も IDS の国際色がさらに豊かになったことを讃えています。「前回の 2013 年と比べて、ドイツ国外からの来場者を中心に、当社のブースに立ち寄る人がさらに増えました。中国や韓国などアジアの国のほか、南欧からの参加者の増加も目立ちました。」一方、BEGO のアクセル・クラルメイヤー (Klarmeyer) 専務取締役は、ブースの来場者数の多さに加えて、「顧客は製品に関する知識が豊富で、新しい技術に対する関心が高かった」と報告しています。Sirona Dental Systems のウォルター・ペーターズーン副社長 (セールス担当) も、「ドイツ国外からの来場者の多さ、購買意欲、そして例年ながらのドイツ国内の歯科医と歯科技工士の参加者の多さ」を歓迎しています。A. Titan のマイケル・チューバ専

務取締役も IDS 2015 に最高得点をつけた一人です。「IDS に出展するのは今回で 7 回目ですが、海外販売網の一層の拡大という当社が掲げる目標を最適な形で達成することができました。この見本市は、世界各地の既存顧客と会う絶好の場を提供してくれると同時に、新規の顧客とも接触できます。だからこそ、国際デンタルショーは、米国デンタル業界の全メーカーにとって絶対に外せない見本市なのです。」Mydent International のアンドリュー・パーカーCEO も、IDS 2015 で大きな成果を上げた一人です。「ここケルンで世界各地の顧客と会えただけでなく、魅力的な新規歯科用品販売業者 100 社以上と接触することができました。このように海外にアピールできるイベントは、世界的に見ても他にありません。」

世界各地から集結した来場者も満足

来場者アンケートでは、全体の 75%以上が IDS に（非常に）満足していると回答しています。また、既存の製品や新製品の展示が充実していることが奏功し、81%が展示内容を（非常に）良いと評価しました。一方、今回の見本市での目標達成度に関しては、出展企業の 74%が、（非常に）満足と報告しています。また、アンケート対象者全体の 95%が IDS を取引先に薦めると回答し、77%が次回の IDS 2017 にも来場する意向を示しました。

IDS 2015 速報値

総展示面積：157,000 m² (2013: 147,900 m²)

出展者数：56 カ国 2,201 社 (2013: 56 カ国 2,058 社)

ドイツ国内出展者数：638 社+代理店 20 社 (2013: 647 社+代理店 7 社)

外国からの出展者数：1,489 社+代理店 54 社 (2013: 1,355 社+代理店 49 社)

外国企業比率：70%以上 (2013: 68%)

来場者数：151 カ国 138,500 名 (2013: 149 カ国 125,000 名)

ドイツ国外からの来場比率：51% (2013: 48%)

第 37 回 IDS ケルン国際デンタルショーは 2017 年 3 月 21 日～25 日の日程で開催されます。

お問い合わせ先：

ケルンメッセ株式会社

TEL：03-5793-7770 FAX:03-5793-7771 Email: kmjpn@koelnmesse.jp